

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会広報充実事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的の行政運営（行政の充実）		主管課	議会事務局			
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組		主管課長	竹内 繁教			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	議会だよりの記事の内容を充実し、市民に親しみやすい紙面作りに努める。
事業内容	年4回（5月・8月・11月・2月の各15日）定例会終了の2か月後に、流山市議会だよりを発行する。 新聞折り込みと希望者に対して郵送して配布している。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和52年11月6日流山議会だより創刊号の発刊 ・平成19年度議会だより発行部数：57,500部 ・平成20年度～25年度議会だより発行部数：57,700部、26年度58,000部 ・新聞未購読者への議会だより配布分 H22：1,289人・H23：1,357人・H24：1,452人（H25まで郵送H26から配布委託） H25：1,539人・H26：1,606人 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	議会だより発行部数	57,700	57,700	58,000	部	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	最終面の表決結果の一覧表をより多くの方にとって見やすいものにするために、カラーユニバーサルデザインの検証を実施した。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル変更 ・ユニバーサルデザインフォントへの変更、文字間行間の拡大は毎号変更の実施を確認。 ・1面の議会日誌欄を廃止し、特集記事欄を新設。 ・一般質問原稿の校正に、質問議員が確認するように変更。 ・紙面の変更の取り組みについてアンケート調査を実施。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	7,178,000	8,384,400	8,291,119				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)	7,178,000	8,384,400	8,291,119				
人役・職員(人)	1.00	1.20	1.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	議会だよりのリニューアルは、全面的に実施するか、紙面サイズなどはそのまま部分的に行うか、具体的手法を決定し実施していく。	③取り組みの課題	文字間行間の変更は、過去のデータを使用しいくつかのデザインを確認した。毎号仕様を特別委員会に諮って確認した上で発行した。
②今年度(H26)に実施した取り組み	紙面サイズは変えずに、1面に特集記事欄を新設、文字間行間の拡大、フォントの見直し、一般質問原稿校正に議員参加の拡大などを行った。	④今後の改善計画	新たな構成の議会だよりで、文字間行間の仕様を検討して決定したい。